

36人の新入生を迎えて

～令和8年度 入学式～

4月9日、入学式が行われました。全校の児童生徒や職員、御来賓の皆様が見守る中、小学部7人、中学部11人、高等部18人、計36人の新入生が、期待に胸を膨らませて、新たな一步を踏み出しました。

校長先生の式辞では「小学部の皆さん、好きなことをたくさん見つけて学校が大好きになってください。中、高等部の皆さんは、失敗を恐れず様々なことに挑戦してください。自分自身と向き合い『こんなふうになりたい』という思いを大切にしてください」とお話されました。

全校児童生徒を代表して、高等部3年の齋藤駿介さんが、「皆さんが入学することを心待ちにしていました。学校生活の一日一日を大切に過ごし、自分から積極的に行動し、楽しんでいきましょう」と歓迎の言葉を述べると、新入生を代表して、高等部1年の白岩泉織さんが「少し不安もありますが、将来のために人と関わる力を身に付け、たくさんのごことに挑戦したいです」と力強く挨拶しました。

この日、新入生36人に加え、本校の全校児童生徒は126人となりました。校舎の周りには、例年より少し早く桜が咲きそろい、新入生の入学に花を添えてくれていました。



小学部の新入生
～お家の人と一緒に元気に入場～



「歓迎の言葉」児童生徒代表
生徒会長 齋藤駿介さん



「よろこびの言葉」新入生代表 白岩泉織さん



中学部、高等部の新入生
～名前を呼ばれ、力強く返事しました～